

社協だより

第78号 平成29年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



地域の未来、わたしたちも支えています。

平成28年10月1日(日) 赤い羽根街頭募金
名取北高 × イオンモール名取

(街頭募金ほか赤い羽根共同募金の募金実績額のご報告は、6頁に掲載しています。)

名取市社会福祉協議会 下半期事業のご報告

第四十二回

名取市社会福祉大会開催

毎年、地域福祉関係者が一堂に会し、地域福祉活動を実践することを誓い合う啓発事業として名取市社会福祉大会を開催しております。今回で四十二回目を迎えた今年度は、平成二十八年十一月二十五日（金）、名取市文化会館の中ホールにおいて開催し、民生委員児童委員、ボランティア、福祉団体等の関係者など約三百六十名を迎えての大会となりました。

その大会の中では、福祉に功績のあった個人や団体に対して、表彰状、感謝状を贈呈する式典を行い、前年度より十九



名多い六十八名の方々が受賞しました。贈呈式では、表彰区分ごとの代表者九名がステージに登壇し、各種福祉団体長から表彰状、感謝状を受け取りました。



▲利き脳チェックによる自分に合った片づけ方法など、とても興味深い話でした。

また、記念事業として、ライフオーガナイザー（※）／整理収納アドバイザーである「はやさか ひろみ」さんを講師に迎え、『暮らしも心もラクになる お片づけのきほん』と題した講演を行いました。

福祉活動等で多忙な日々を送る参加者の方々に向け、「暮らしがちよっとラクになる♪」だけでなく、「心もラク」になるお片づけのお話しをしていただき、

「年末の大掃除に向け役に立ちました」との感想も寄せられました。

次年度の名取市社会福祉大会は、平成二十九年十一月三十日（木）、名取市文化会館の中ホールで開催する予定となっています。

※ライフオーガナイザーとは、思考と空間を整理するプロのこと。

民生委員児童委員 一斉改選

平成二十八年十二月一日に民生委員児童委員の一斉改選（任期三年）がありました。

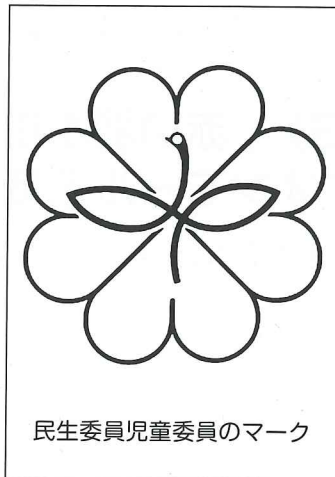
民生委員制度は、大正六年五月十二日に岡山県で創設された「済世顧問制度」に始まり、平成二十九年で制度創設百周年を迎えます。

名取市の民生委員児童委員の定数は、百三十四名（うち児童福祉活動を専門とする主任児童委員は十九名）となっています。区域を担当する委員の氏名は、平成二十九年二月一日発行の広報なとりに掲載されました。

民生委員は、地域住民の立場にたって、地域の福祉を担うボランティアであり、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から

委嘱された非常勤・特別職の地方公務員（無報酬）です。また、民生委員は、児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。

民生委員児童委員は、担当の区域内において、高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声掛けなどを行っています。医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、さまざまに相談に応じます。相談内容に応じて、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。



民生委員児童委員のマーク

民生委員児童委員の徽章などに用いられているこのマークは、幸せのめばえを示す四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員を示す双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたどって、愛情と奉仕を表しています。

「知ろう！気づこう！地域のお宝」 地区情報交換会開催

少子高齢化など、地域での課題が複雑化する中、これからも安心して地域で暮らしていくために、地域の中でのつながりを大切に、支え合い活動を推進して「こつこつ」取り組みが始まっています。

名取市社会福祉協議会では名取市からの委託を受け、生活支援コーディネーターを配置し、取り組みの第一歩として、市内三地区（下増田・名取が丘・高館）で情報交換会を開催しました。

当日は、地域で活躍するリーダーの方々や、ボランティア活動をしている方、この取り組みに賛同して下さる方など、たくさんの方々にご参加いただきました。



地域の支え合い活動『お宝』を知るためのグループワークでは、「自宅に人を招いてお茶のみをしている方」など地域の主役であるそこに住む住民ならではの『お宝』が発掘されました。

また、今後地域に必要な『お宝』についてお話しを聞いた際には、「体操を活用してのつながり作り」「みんなが気兼ねなく集まれる場所」など、参加者の方々の熱い思いを教えてくださいました。今後は、三地区合同で互いの地区の活動を共有する「地域支え合い報告会」も予定しています。また、来年度以降は他の地域でも同様に情報交換会を実施していきます。

皆様の地域の『お宝』をぜひ教えてください！

名取市老人クラブ芸能大会開催

平成二十八年十一月十七日、名取市文化会館大ホールにおいて、名取市老人クラブ連合会との共催により「第四十三回名取市老人クラブ芸能大会」が、例年より一月遅れで開催されました。

霜月もなんのその、会員のパワーは寒さも吹き飛ばすほどの勢いで、三十一の単位老人クラブが歌や踊りなど一年の集大成を披露しました。

照明など舞台演出はプロのスタッフが手がけており、出演した会員たちもプロ顔負けの舞台度胸で、気持ちよさそうに歌ったり演奏したりしました。



▲スコップを三味線に見立てて。揃いの衣装もキマっています。

この晴れ舞台は、「老人クラブ」というネーミングからは想像できない程の活発さのなかで、いろいろなことにチャレンジしながら、皆で情熱を傾け、練習に集中したり、ゆっくりお茶を飲んだり、語り合ったり、仲間とワイワイ楽しい時間を過ごしながら作り上げています。



名取市老連では、このほかグラウンド・ゴルフやパタンク等のスポーツ行事をはじめ、社会奉仕の日に市内の清掃をするなど幅広い活動を展開しています。市内にお住いの六十歳以上の方ならごなたでも入会できます。興味のある方は左記までお問い合わせください。

問合せ先

名取市老人クラブ連合会 事務局

電話 022(384)9999

(社会福祉法人名取市社会福祉協議会内)

一人ひとりが主役となり

地域で活躍するために...

「おれんじ一番星隊」
発足しました!

名取市社会福祉協議会（以下、名取市社協と表記します。）では新たな取り組みとして「おれんじ一番星隊」をスタートさせました。

「おれんじ一番星隊」とは、名取市社協の実施した認知症サポーター養成講座を受講し、そこで得た知識を自分や周りの人、地域のために役立てたいとサポーター登録をしてくれた方々を言います。

「おれんじ」は認知症サポーター養成講座を受講した方へ配布される「オレンジリング」から、「一番星」は一人ひとりのサポーターを星に例え、みんなが個



▲10月に開催した認知症サポーター養成講座の様子。

▲オレンジリング。

性を活かし、つながり、活躍できるくみになるよう名づけました。

名取市社協ではこれまで三回の認知症サポーター養成講座を開催し、計六十二名の方に受講していただきました。

現在、講座での学びを活かしてボランティア活動をしたい、もっと多くの学びを深めたい、自分にできることを探してみたいなど様々な目的で二十三名の方が登録しています。



講座企画を開催しました

「おれんじ一番星隊」最初の企画として、講座「認知症の方との関わり方」のかけ方話し方」を開催しました。

三月の認知症サポーター養成講座で登録した方には八月二十五日に、十月のサポーター養成講座で登録した方には十二月十五日に、それぞれ開催しています。



▶12月に開催した講座の様子です。7名の方が参加しました。



◀どのように声をかけたら安心してもらえるか、実際に試してみました。

講座の中では、自分がどこに居るかわからなくなっている認知症の方に対し、どのように声掛けをした方がよいのか、相手に安心してもらうためにはどのような話し方がよいのかなど、参加者が実際にやってみる方法で学んでいただきました。

サポーターの中には、学んだ内容をさっそく活かし、名取市社協が実施している『いっぶく堂カフェ』（名取市からの委託により実施している家族介護者の方のサロンです。）でのボランティアに参加している方もいます。

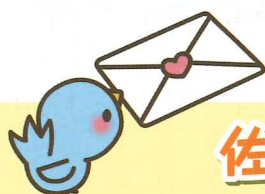


◀▼
8月に開催した講座企画の様子です。少人数で和気あいあいと実施しました。下の写真右側が佐々木さんです。



「おれんじ一番星隊」第一期の登録で、現在『いっぶく堂カフェ』でボランティアをしている佐々木麻樹さんに登録したきっかけや活動に対する思いについてメッセージをいただきました。ご紹介し

登録サポーターの声を
聞いてみました！



佐々木さんからのメッセージ

職業がら外周りでいろいろな方と接する事が多いので、せつかくなれば仕事以外でもお役に立てることがあれば良いと思っていました。認知症サポーター養成講座のお話を聞いて「これだ！」と思い参加させていただきました。

おれんじ一番星隊の一員なのだというだけで、地域に対する想いも見え方も全然違ってきます。今はボランティアを通して地域の皆さんと関わることがとても楽しいです。

だから、もっともっとおれんじ一番星隊を皆さんに知って欲しいです。そして気軽に参加してみてください。きっと何かが変わりますよ。



認知症 サポーター 養成講座



認知症サポーターは、
つながりあい、支え合う地域づくりをめざして
認知症の人やその家族を支え守る応援者です。

受講された方には、
“認知症サポーター”の証
“オレンジリング”を
お渡しします。

- ◇日時：平成29年3月16日(木) 10:30～12:00
 - ◇場所：名取市文化会館 希望の家
 - ◇対象：名取市民の方で、関心のある方
 - ◇定員：30名(先着順)
 - ◇参加費：無料
 - ◇内容：◆認知症サポーターとは
◆認知症の理解と症状や行動心理
◆<寸劇>認知症の方への関わり方
- ◎ほっとなとりスタッフが、
キャラバン・メイトとして講義を担当します。



- ◇申込方法：3月10日(金)までにお電話で申込みください。
- ◇電話番号：022-399-8856
(指定居宅介護支援事業所ほっとなとり 専用電話まで)



赤い羽根共同募金をはじめ、たくさんの募金活動へ ご協力をいただきありがとうございました。

赤い羽根共同募金

平成28年度 募金実績額のご報告
(平成29年1月末現在)

7,298,534円

(内訳) (単位：円)

募金種別	金額
戸別募金	6,851,985
職域募金	156,332
学校募金	106,828
窓口募金等	183,389
合計	7,298,534



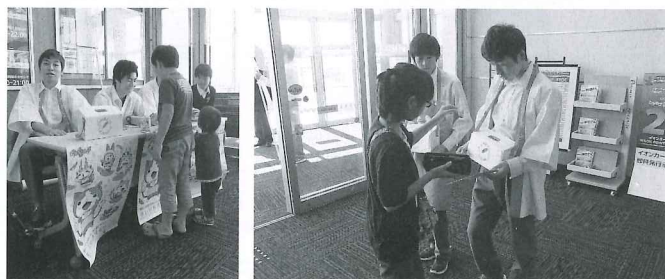
戸別募金の地区内訳

(単位：円)

地区	募金額
増田	1,351,290
増田西	1,044,250
名取が丘	577,380
閑上	125,000
下増田	715,200
館腰	859,600
愛島	560,265
高館	552,600
相互台	506,100
ゆりが丘・みどり台	316,600
那智が丘	243,700
合計	6,851,985

平成28年度の赤い羽根共同募金運動が開始された10月1日、宮城県名取北高等学校奉仕活動部のみなさんがイオンモール名取において街頭募金を実施しました。

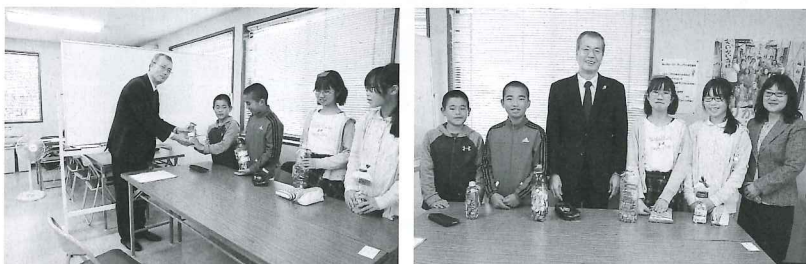
募金額：31,440円



義援金への募金 実績額のご報告 (平成29年1月末現在)

岩手県台風10号災害等義援金

名取市立不二が丘小学校の運営委員会で、ひとりの委員から「何か力になりたい」と声があがると、みんなが賛成して校内一丸となり募金活動に協力してくれました。(募金額：23,226円)



▲集まった義援金を名取市共同募金委員長へ。宮城県共同募金会を経て岩手県へ届けられました。(平成28年10月31日 社協事務所にて)

平成28年熊本地震義援金

(平成28年9月1日～平成29年1月末)
匿名希望の方から2件・3,000円

募金総額：130,865円

(平成28年8月末までの募金詳細は、社協だより第77号に掲載済み。)

ありがとうございました。



ありがとうございました

社会福祉協議会に
寄付をしていただいた方々を掲載しました。
(平成28年9月1日～平成29年1月31日の間)

善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んで
いただけるような活用をさせていただきます。

【現金の寄付】★28年8月31日までの寄付金は前回発行の「社協だより第77号」に掲載済み
(敬称略)

月日	氏名	金額(円)
H28. 9. 5	京浜精密工業株式会社(横浜市)	90,050
9.16	増田西地区町内会連合会(増田西)	40,720
10.11	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
10.19	名取市ボランティア連絡会 名取が丘支部(名取が丘)	2,300
10.24	グラウンド・ゴルフ名取市協会 代表 佐々木 常夫(名取が丘)	1,800
10.25	名取市社会福祉協議会 事務所設置「善意銀行募金箱」	2,864
11. 7	亥・子の会 女子会(増田)*1	11,279
11. 9	那智が丘公民館まつり コーヒーコーナー係(那智が丘)	10,982
11.28	愛島公民館まつり 福祉委員会募金(愛島)	16,855
11.29	増田婦人会(増田)	26,800
12. 2	増田グラウンド・ゴルフ愛好会 会長 渡辺 定男(増田)	3,900
12. 5	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
12.20	箱塚老人クラブ若草会(名取が丘)	7,977
12.20	愛島公民館 食事カルテ講座(愛島)	37
12.20	愛島公民館 寿教室(愛島)	892
12.20	愛島公民館 子育てすやすや・よちよちくらぶ(愛島)	362
12.26	愛島婦人会(愛島)	10,000
H29. 1.13	一般社団法人 スポーツ絆 専務理事 清本 直(仙台市)*1	20,150



*その他、匿名希望の方から寄付金(5件・186,500円)をいただきました。
*1 指定寄付として31,429円を名取市ボランティア振興基金に積立。

【物品の寄付】(敬称略)

月日	氏名	金額(円)	払い出し先
H28. 9.15	イオンモール名取(増田)	おもちゃ、雑貨、衣類等 260点	市内児童センター等 12件
9.16	メガネの相沢 名取店(増田)	老眼鏡クーポン券	市内高齢者
9.16	板橋 良子(増田)	手作り毛糸ぬいぐるみ	市内児童センター等 12件
11. 8	本田 幸子(名取が丘)	タオル 30枚 おしぼり 109枚	社会福祉法人 愛の郷

*その他、匿名希望の方から物品2件(玄米・紙パンツ)の寄付ををいただき、市内高齢者福祉施設へ払い出しました。



社協だより第七十七号で募集した「電動アシスト自転車プレゼント」に当選された方々に納車しました。
写真のお二人のほか合計十名の方が当選し、心温まるお礼状をいただくなど、とても喜んでいただきました。
たくさんのご応募ありがとうございました。

日常生活自立支援事業のご案内



日常生活支援事業

まもりーぶ

「まもる」と「びりーぶ(信じる)」を
組み合わせた愛称です。

認知症の方や障がい(知的・精神)のある方で、自分に必要な福祉サービスを選んだり利用するための理解、判断、意思表示を行うことが難しい方(判断能力が不十分な方)を対象に、福祉サービス利用に関する相談・助言や、それに伴う日常的な範囲の金銭管理、生活変化の見守りを行い、地域において自立した生活が送れるよう支援するサービスです。

● サービス内容

- 福祉サービスの利用援助
例) 利用するため等に必要な手続きに関するもの/福祉サービスの利用料を支払う手続きに関するもの
- 日常的な金銭管理サービス
例) 日常生活に必要な預貯金の払い戻し、預け入れ
例) 医療費、社会保険料、介護保険料、公共料金、家賃、税金、日用品などの支払い手続き
- 書類等の預かりサービス
例) 預貯金通帳、年金証書の重要書類、実印など

● 利用料金

- ☆基本料金・・・・・・・・・・ 1か月/700円
 - ☆お預かりサービス・・・・・・・・ 1か月/300円
 - ☆サービス料金・・・・・・・・・・ 30分 /500円
 - ☆サービス提供に係る旅費・・・・ 走行距離に応じて
- ※サービス料金は減免になる場合があります。

● お問い合わせ・ご相談

仙台地域福祉サポートセンター
(社会福祉法人宮城県社会福祉協議会)
相談専用電話：022-212-3388
※名取市社会福祉協議会でも相談をお受けします。

急募!! 配食サービス 運転ボランティア

社会福祉協議会で実施しているお弁当配達に協力していただけるボランティアを募集します。



- 募集内容：市内のお弁当配達先まで社協の公用車を運転して下さる方
※配達ボランティアの方と二人一組で活動していただきます。
- 活動日：毎週火曜日・木曜日(10:30~12:30)
※1回につき10軒程度の配達です。
※月1回の活動でも可。スケジュールは3カ月に一度の打合せ会で決定します。
- 応募資格：74歳までの方
※応募は1日体験後でも可。
※登録後は研修期間があり、先輩ボランティアが丁寧に指導します。
※運転ボラ登録は原則75歳になった年度末までとなります。

平成29年度 ボランティア保険受付のご案内

平成29年度のボランティア保険の事前受付は下記のとおりです。保険料を添えて社会福祉協議会の窓口へお申し込みください。

受付開始日：平成29年3月15日(水)

- ※保険内容の詳細は下記ホームページをご参照ください。
- ※申込用紙は社協事務所に備え付けてあります。(28年度用の紙は使用できませんのでご注意ください。)
- ※保険料は、つり銭のないようにご準備いただきますようご協力をお願いいたします。

保 険 種 類	注 意 事 項
ボランティア保険 (ボランティア活動保険)	※保険期間は平成29年4月1日~平成30年3月末日です。(ただし、4月以降に手続きを行った場合は、申込完了日の次の日から平成30年3月末日までとなります。)
ボランティア・ 福祉活動行事保険	※3月中は、年間申込および4月開催行事の受付となります。5月以降の行事については4月に入ってからお申し込みください。 ※平成28年度に年間申込をした団体は、精算書の提出を行なってください。



【お問い合わせ、応募先、ご相談】

社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 022-384-6669
ホームページもご覧下さい。http://www.natorisyakyo.or.jp

印刷／(株)ペナントコーポレーション 384-4547